



# 育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 Tel 227-1972

- 1 深夜はいかい・非行防止  
学校・家庭・地域・関係機関等の連携による啓発とはいかに少年への適切な声かけ（家出、万引き、飲酒ほか）
- 2 校区の環境点検の実施と適切な対応  
少年の生活環境点検調査及びパトロール活動の推進（河川や海岸、不健全遊技場、有害図書・玩具等取扱店舗ほか）

## 警察庁「少年からのシグナル」から見える青少年の現状



警察庁は、毎年7月に少年非行・犯罪被害の現状等について紹介する「少年からのシグナル」を発行しています。令和4年版には、令和3年中の状況が掲載されており、非行等を未然に防ぐための参考になるものです。

凶悪犯や窃盗犯などの令和3年中の刑法犯少年の検挙人数は戦後最少の1万4,818人で、平成24年中の約2割まで減少しています。飲酒、喫煙などの不良行為で補導された少年は30万8,563人で、平成24年中の約3割まで減少しています。

しかしながら、少年の薬物乱用は増加傾向にあり、特に大麻事案の令和3年中の検挙人数は994人で過去最多を更新しました。青少年の中には、友人・知人やインターネットからの「依存性はない」などの誤った情報をうのみにして、好奇心・興味本位などの軽い気持ちで大麻に手を出してしまう実態がみられます。そのため学校等では、少年サポートセンターによる薬物乱用防止教室を実施したり、警察庁が配信しているYouTube動画を視聴する時間を設定するなどして啓発に努めているところです。

児童虐待事件の検挙件数は2,174件で過去最多となっており、態様別では身体的虐待が最も多く、次いで性的虐待、心理的虐待となっています。警察等からの児童相談所への通告が最も多い状況ですが、学校や地域においても、疑わしきは積極的に警察や児童相談所に相談・通告する必要があります。

SNSに起因する性被害に遭った子どもの数は、低年齢層へのインターネット利用の広がりに伴い、1,812人と高い水準で推移しています。被害に遭った子どもの数が最も多いのはTwitter、次いでInstagramです。知り合うきっかけとなった投稿内容の中で、「プロフィールのみ」「趣味・嗜好」など、一見被害への発展が予測しづらいものが約5割を占めており、SNSへの安易な個人情報の掲載は極めて危険であることを示しています。

このように、表面上、少年非行は減少傾向にあるように見えますが、SNS等の利用による見えにくい非行が進んでいるのかもしれない。これまで同様、警察等の関係機関・学校・保護者・地域が密接に連携しながら、子どもたちをしっかりと見守っていくことが一層求められていると考えます。



## 他人を頼ることで...

先日、あるポスターが目にとまりました。そこには「一人でなんでもできるようになることが自立じゃない。困ったら誰かを頼ったっていい」とありました。

学生だった頃、思うようにいかないことが多くふさぎ込み、土手で川を見ながら考え込んでいたことがありました。そんな時、近所のお姉さんが通りかかり、優しく「どうしたの」と声を掛けてくれました。ためらいはあったものの、『頼ってみよう』と思い、自分の想いを話してみました。お姉さんは、真剣なまなざしでこちらを見て、真剣に想いを受け取り、励ましの言葉を掛けてくれました。心がスツと軽くなりました。

当時は、誰かを頼り、自分の辛さを話すことにためらいがありました。しかし、この経験から断言できることは、人に頼ることは、人のぬくもりに触れ、心が軽くなるだけではなく、下を向かず前を向き、再び歩き出そうとする勇気をもらうことができるということです。

人生には困難がつきものです。あの時、思い切って話さなければ、深みから抜け出せず、悶々とした日々を送っていたら、困窮を乗り越える術を知らないままだったに違いないと思います。少しの勇気を持ち、自分をさらけ出すことで新しい風景が見えてきます。そして、次は困っている人に寄り添ってあげる。それが自立なのかもしれません。

## 夏の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動

本市では、児童生徒の夏休みを含むこの時期に、家庭、学校、職場、地域及び関係機関・団体が密接な連携を図りながら、下記の「夏の心豊かで元気あふれる『さつまっ子』を育てる運動」積極的に展開していきます。市民一人一人が青少年の健全育成についての理解を深め、心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成していきましょう。

記

- 1 期間 令和5年7月1日(土)～8月31日(木)
- 2 テーマ及び重点事項  
「明るく たくましく すこやかに～みんなで環境点検～」
- 3 実践事項
  - (1) 地域ぐるみで、青少年へのあいさつ、声かけを実施し、非行等の未然防止に努める。
  - (2) 環境点検等（危険箇所等の点検）を実施し、交通事故・水難事故等の未然防止に努める。
  - (3) 「早寝 早起き 朝ごはん」の習慣化やラジオ体操への参加などを通して、基本的な生活習慣の育成に努める。
  - (4) スマートフォンやゲーム機器等の正しい使い道やネットトラブルについて、家庭や地域で話し合う。



【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 5月の声かけ人数 534(189) 前年同期 442(165)

◇ 5月の学職別声かけ人数 ( )は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	79(21)	76(14)	286(127)	0(0)	0(0)	1(0)	442(162)
その他	5(0)	1(0)	85(26)	1(1)	0(0)	0(0)	92(27)
合計	84(21)	77(14)	371(153)	1(1)	0(0)	1(0)	534(189)
前年度比	25(2)	50(0)	25(21)	▲6(1)	▲3(0)	1(0)	92(24)

◇ 5月の地区別声かけ人数 ( )は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	342(150)	64.0%
天文館	43(18)	8.1%
谷山	95(13)	17.8%
上町	3(1)	0.6%
鴨池	16(7)	3.0%
伊敷	35(0)	6.5%
その他	0(0)	0.0%
合計	534(189)	100.0%

- JR谷山駅のベンチで談笑する高校生男女3人に声を掛けた。「卒業した中学校に行き、担任の先生に入学した高校の近況を報告に行きます」と答えた。学校にも慣れたらしい。「近況報告に行くことは素晴らしい」と褒め、連休後は勉強や部活に頑張るよう励ました。
- (夜間声かけ) アミュプラザのゲーム場で、ゲームをしていた小学6年生男子に声を掛けた。「親から、映画を観るので、ここで待っていなさいと言われた」と話した。18時以降の入場制限について親に啓発する必要がある。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和5年1月~5月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数

( )は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	7(4)	13(4)	0(0)	0(0)	5(1)	17(9)	3(2)	0(0)	7(6)	52(26)	▲12(4)
西署	9(4)	39(10)	0(0)	2(0)	3(1)	21(5)	1(0)	0(0)	5(1)	80(21)	44(11)
南署	4(0)	14(4)	3(0)	0(0)	1(1)	15(4)	0(0)	0(0)	0(0)	37(9)	2(2)
人数合計	20(8)	66(18)	3(0)	2(0)	9(3)	53(18)	4(2)	0(0)	12(7)	169(56)	34(17)
割合	11.7%	39.1%	1.8%	1.2%	5.3%	31.4%	2.4%	0.0%	7.1%	100.0%	
当月発生計	8(4)	16(7)	0(0)	1(0)	2(0)	16(6)	0(0)	0(0)	0(0)	43(17)	※発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数

( )は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	1(0)	0(0)	3(0)	1(0)	2(0)	1(0)	8(0)	0(▲2)	19(5)
西署	2(2)	1(0)	5(2)	0(0)	0(0)	1(1)	9(5)	▲4(4)	11(3)
南署	0(0)	0(0)	9(2)	2(0)	3(1)	2(0)	16(3)	▲1(0)	21(10)
人数合計	3(2)	1(0)	17(4)	3(0)	5(1)	4(1)	33(8)	▲5(2)	51(18)
割合	9.1%	3.0%	51.5%	9.1%	15.2%	12.1%	100.0%		
当月発生計	1(0)	0(0)	3(0)	0(0)	0(0)	1(0)	5(0)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- ① 非行防止教室は、5月中旬に市内中学校1校で実施した。6、7月は、市内小学校3校と中学校5校でインターネットの危険性及び初発型非行防止教室をティーム・ティーチングで実施する。
- ② 薬物乱用防止教室は、5月の実施はなく、6月にいちき串木野市の中学校2校で、7月に南九州市の中学校2校で実施する。
- ③ 居場所づくり活動は、6月中旬に南九州市で芋の苗植えを実施する予定であったが、荒天のため実施できず、2日後職員で苗植えを実施した。秋には、大学生ボランティアや少年にも呼び掛け収穫祭を実施する予定である。7月の居場所づくりは、上旬に青少年研修センターで、室内運動会と自然散策を実施する予定である。
- ④ ヤングテレホンは、9件の相談があった。
- ⑤ サイバーパトロール活動は継続中であるが、依然として不適切な書き込みが見られ、注意喚起メッセージの送信を行っている。
- ⑥ 補導職員が、午前と午後に中央駅周辺を巡回しているが、特に気になるような事案はない。